

福岡県立図書館の運営状況に関する評価結果（平成27年度実績）

図書館法第7条の3及び「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」に基づき、平成27年度の運営状況についての評価を実施し、その結果に基づき運営の改善を図っています。

1 図書館評価（平成27年度）の概要

① 評価項目

福岡県立図書館が有する5つの機能

- (ア) 資料収集保存センター機能、(イ) 資料情報センター機能、
- (ウ) 郷土資料センター機能、(エ) 市町村立図書館の援助センター機能
- (オ) 子どもの読書活動推進拠点機能

の下に38個の評価項目を定め、評価項目毎に数値目標を定めました。評価項目一覧は、第3項に示しています。

数値目標値は、24～26年度の3年間平均値と同程度以上としていますが、26年度の実績値と乖離している場合は、26年度の実績値と同程度としています。

② 評価方法

評価項目毎に達成率（27年度実績／27年度目標×100）を算定し、評価しました。

達成率	評価
95%以上	ほぼ達成できた (◎)
90%以上 95%未満	あとわずかで達成 (○)
90%未満	達成できなかった (△)

- ・機能毎の評価項目数に占める「ほぼ達成できた」以上の評価項目数の割合を出し、3分の2以上あればその機能は達成とします。
- ・機能毎の達成状況に占める「達成」とした機能数の割合を出し、3分の2以上あれば図書館全体として達成とします。

2 図書館評価（平成27年度）の結果

① 達成状況

機能毎及び図書館全体の達成状況は、次のとおりです。（括弧書きは、前年度の状況）

機能	評価項目数	◎以上の数	達成状況
ア 資料収集保存センター機能	5 (5)	5 (5)	達成 (達成)
イ 資料情報センター機能	13 (13)	12 (11)	達成 (達成)
ウ 郷土資料センター機能	7 (7)	5 (5)	達成 (達成)
エ 市町村立図書館の援助センター機能	5 (5)	5 (4)	達成 (達成)
オ 子どもの読書活動推進拠点機能	8 (8)	6 (7)	達成 (達成)
図書館全体	38 (38)	33 (32)	達成 (達成)

② 全体評価

①の達成状況で示しているとおおり、図書館が有する5つの機能を全て「達成」したため、図書館全体としては「達成」していると考えています。

しかし、入館者数など数値目標に対して95%未満の項目が5項目あり、その要因等を分析し、今後の運営の改善に努める必要があると考えています。

なお、図書館機能毎の今後の改善点の概要は、次のとおりとなっています。

(ア) 資料収集保存センター機能

今後も、県立図書館として収集すべき資料を明確にし、県立図書館としての蔵書構成を確実なものとするため、平成27年度に見直しを行った収集方針・収集細則の下、資料の整理方法を改善し、整理の迅速化による利用拡大を目指していきます。

(イ) 資料情報センター機能

今後も、課題解決型図書館として、更なるサービスの拡充に努めるとともに、県民ニーズを的確に捉え、関係機関との連携、広報を含め、新たな図書館利用者を得るための取り組みを進めていきます。

(ウ) 郷土資料センター機能

今後も、一般郷土資料の収集と併せ、目録作成や古文書・近代の既所蔵資料の媒体変換（ラミネート加工、紙媒体への複写、マイクロフィルム化、デジタル化）に順次取り組み、県民が利用し易い資料・情報形態の条件を整え、レファレンス等全般のサービス向上を行い利用の拡大を目指していきます。

(エ) 市町村立図書館の援助センター機能

今後も、県内公共図書館等への職員派遣、職員研修会、その他市町村支援については、引き続き市町村からの要望を十分に把握し、充実に努めていきます。

(オ) 子どもの読書活動推進拠点機能

県内全市町村において学校支援の取組を進めており、県立図書館でモデル事業として実施している学校貸出図書セットについて、内容の更なる充実に努め、利用の拡大を図っていきます。

③ 機能別評価

図書館機能毎の評価項目、達成割合、評価、達成状況、今後の改善点は、次の（ア）から（オ）のとおりになっています。

(ア) 資料収集保存センター機能に関する評価

評価項目	27年度目標	27年度実績	達成割合	評価
(1) 受入資料数	24,000 冊	23,979 冊	99%	◎
(2) 録音図書収集タイトル数	140 <small>タイトル</small>	171 <small>タイトル</small>	122%	◎
(3) 大活字資料（埼玉福社会刊行分）購入率 （購入点数／出版点数）	100 %	100%	100%	◎
(4) 新着資料回転率 （新着資料貸出点数／新着資料貸出可能冊数）	2.80 回	2.75 回	98%	◎
(5) 資料の質や量についての利用者満足度 （子ども図書館を除く。）*アンケートによる	85 %	84 %	98%	◎
合 計				5 / 5

* 達成割合は、小数点以下を切捨表示

* 評価凡例：◎95%以上、○90%以上、△90%未満

評 価

- ・ 5項目中、全項目で目標を達成した。このため、当機能の目標は達成した。

達 成 状 況

- ・ 受入資料数は目標値を概ね達成できた。
- ・ 録音図書収集タイトル数については、新規製作数の増加に加え、カセットテープ版からデジタルへの移行（デジタル化）を引き続き行っているため、目標値を達成できた。
- ・ 大活字資料（埼玉福社会刊行分）購入については、目標どおり全点（60冊）購入した。
- ・ 新着資料回転率については、概ね達成できた。
- ・ 利用者の要望を踏まえた選書を迅速に行うことにより、資料の質や量についての利用者満足度は、目標を概ね達成することができた。

今 後 の 改 善 点

- ・ 県立図書館として収集すべき資料を明確にし、県立図書館としての蔵書構成を確実なものとするため、今年度は収集方針・収集細則の見直しを行った。次年度は、新しい収集方針・収集細則の下、資料の整理方法を改善し、整理の迅速化による利用拡大を目指す。
- ・ 録音図書に関しては、昨年度に続き製作数が増加している。今後は、録音図書製作ボランティアの方々と協議しながら、利用者からのリクエストによる製作にも積極的に対応していく。さらに国立国会図書館へのデジタルアップロードによる録音図書の利用拡大を目指す。

(イ) 資料情報センター機能に関する評価

評価項目	27年度目標	27年度実績	達成割合	評価
(1) 入館者数 (全体)	490,000 人	442,490 人	90%	○
(2) 新規登録者数	4,700 人	4,975 人	105%	◎
(3) 貸出点数 (子ども図書館、録音図書を除く)	367,000 冊	377,565 冊	102%	◎
(4) 貸出点数 (録音図書)	1,400 <small>タイトル</small>	1,747 <small>タイトル</small>	124%	◎
(5) レファレンス件数 (本館2階閲覧室)	54,000 件	58,045 件	107%	◎
(5-2 (内数)) ○重点サービス (ビジネス支援)	1,400 件	1,879 件	134%	◎
(5-3 (内数)) ○重点サービス (行政支援)	160 件	229 件	143%	◎
(6) 複写サービス件数 (本館第2閲覧室)	5,200 件	5,395 件	103%	◎
(7) 館内 OPAC 利用回数	120,000 件	126,471 件	105%	◎
(8) 福岡県立図書館ホームページアクセス件数	460,000 件	465,502 件	101%	◎
(9) Web OPAC 利用回数	1,300,000 件	1,271,459 件	97%	◎
(10) 県民対象講座満足度(平均)*アンケートによる	98 %	99 %	101%	◎
(11) 目的の資料・情報が入手できたかの利用者満足度*アンケートによる	92 %	95 %	103%	◎
合 計				12/13

* 達成割合は、小数点以下を切捨表示

* 評価凡例：◎95%以上、○90%以上、△90%未満

評 価

13項目中、12項目で目標を達成した。このため、当機能の目標は達成した。

達 成 状 況

- 貸出点数は目標を達成したが、入館者数は目標を下回った。近隣の大学移転に伴う学生利用の減少や本館に来館せずとも貸出・返却等のサービスが受けられるようになってきていることも要因と思われる。
- 在架予約、遠隔地貸出返却サービスなどの浸透や、展示やリストの提供などによる利用を刺激する資料情報のきめ細かな提供で利用者のニーズをとらえ、利用を促進している。
- 録音図書は、デージー図書の貸出が定着しているが、登録者数は下げ止まりが見られる。
- レファレンスの重点として取り組んでいるビジネス支援については目標を達成できた。行政支援では県の機関への広報に努めた結果、下げ止まりが見られる。
- 複写サービス件数は、増加した。国立国会図書館デジタルライブラリーの利用が増えていることも一因と思われる。
- 一般資料、情報への満足度は達成率95%で、昨年と同程度であり、目標を達成できた。

今 後 の 改 善 点

- 遠隔地貸出返却サービスや、郵送登録サービスのPRに努め、利用者層の拡大に取り組む。
- 録音図書は、視覚障がい者以外の利用対象者への周知も工夫し、関係機関との連携や広報に努める。
- 行政支援は、新採職員研修での広報を継続し、他の研修や会議の機会も活用して利用の浸透を図る。
- OPACなど利用者用ツールの改善点を努めて記録し、将来的な向上を図る。
- 蔵書の充実を図るとともに、国立国会図書館デジタル化送信サービスや各種データベースを活用し、個人がインターネットでは入手できない有用な情報の提供に努める。

(ウ) 郷土資料センターとしての機能に関する評価

評価項目	27年度目標	27年度実績	達成割合	評価
(1) 資料受入点数 (郷土資料)	1,300 冊	1,644 冊	126%	◎
(2) 入室者数 (郷土資料室)	35,000 人	32,009 人	91%	○
(3) レファレンス件数 (郷土資料室)	5,300 件	5,441 件	102%	◎
(4) コピー、マイクロフィルム複写件数 (郷土資料室)	4,000 件	3,555 件	88%	△
(5) 資料特別利用の件数	100 件	131 件	131%	◎
(6) 郷土資料室ホームページアクセス件数	7,000 件	7,952 件	106%	◎
(7) 郷土(福岡県)資料の質や量についての利用者 満足度 *アンケートによる	95 %	94 %	98%	◎
網掛項目：過去3か年平均より上の目標値を設定	合計			5/7

* 達成割合は、小数点以下を切捨表示

* 評価凡例：◎95%以上、○90%以上 △90%未満

評価

- 7項目中5項目で目標を達成した。このため、当機能の目標は達成した。

達成状況

- 郷土資料室の資料受入点数、レファレンス件数、資料特別利用の件数、ホームページアクセス件数及び満足度調査は目標値を達成している。
- 郷土資料室の入室者数や複写件数の目標値を達成できなかった要因については、郷土資料関係団体の利用の減少や文書や絵図類のデジタル化が影響していると思われる。

今後の改善点

- 一般郷土資料の収集、古文書及び近代の既所蔵資料の、目録作成、媒体変換（ラミネート加工、紙媒体への複写、マイクロフィルム化、デジタル化）に取り組み、県民が利用し易い条件を整え、レファレンス等のサービス向上につなげる必要がある。
- 業務マニュアル修正、課内会議等での検討による諸改善などにより、県民のニーズに対応したサービス提供に努める必要がある。

(エ) 市町村立図書館活動の援助センター機能に関する評価

評価項目	27年度目標	27年度実績	達成割合	評価
(1) 相互貸借冊数	20,500 冊	23,537 冊	114%	◎
(2) レファレンス件数 (市町村立図書館)	400 件	464 件	116%	◎
(3) 職員研修会満足度 *アンケートによる	99 %	99 %	100%	◎
(4) 公共図書館等への職員派遣回数	50 回	56 回	112%	◎
(5) 市町村支援満足度 *アンケートによる	99 %	99 %	100%	◎
合 計				5/5

* 達成割合は、小数点以下を切捨表示

* 評価凡例：◎95%以上、○90%以上、△90%未満

評 価

- ・ 5項目中全項目で目標を達成した。このため当機能の目標は達成した。

達 成 状 況

- ・ 相互貸借件数は、目標を達成できた。「遠隔地貸出返却サービス」の定着に伴い、相互貸借の周知も進んだことが一因と考えられる。
- ・ レファレンス件数(市町村立図書館)については、目標を達成できた。レファレンス事例を蓄積し、利用するなどして、迅速な回答に努めた結果であると思われる。
- ・ 県内公共図書館等への職員派遣等の回数は、要請に積極的に応え、昨年度を上回ることができた。
- ・ 職員研修会満足度、市町村支援満足度は、目標をほぼ達成できた。県公共図書館等協議会の研修委員会や研修でのアンケート結果を踏まえ、市町村立図書館等からの要望を把握するとともに、図書館界の最新情報にも留意して、研修を実施したことによる満足度を得たと考える。

今 後 の 改 善 点

- ・ 福岡県図書館情報ネットワークに横断検索未加入町村の加入を促すことで、更に相互貸借を円滑に行うことができる状況を整えていく。
- ・ レファレンス件数(市町村立図書館)については、引き続き迅速な回答に努める。
- ・ 職員研修会、市町村支援は、引き続き市町村からの要望を十分に把握し、引き続き研修内容の充実に努める。

(オ) 子どもの読書活動推進拠点機能に関する評価

評価項目	27年度目標	27年度実績	達成割合	評価
(1) 資料受入点数 (子ども図書館)	3,500 冊	3,172 冊	90%	○
(2) レファレンス件数 (子ども図書館)	4,000 件	5,785 件	144%	◎
(3) 子ども図書館ホームページアクセス件数	12,000 件	13,818 件	115%	◎
(4) 入館者数 (子ども図書館)	85,000 人	77,545 人	91%	○
(5) 貸出点数 (子ども図書館)	90,000 冊	104,484 冊	116%	◎
(6) 学校貸出セットの活用	200 回	219 回	109%	◎
(7) 定例おはなし会参加者数	2,200 人	2,728 人	124%	◎
(8) 子ども図書館の資料の質や量についての利用者満足度 *アンケートによる	95%	97%	102%	◎
合 計				6/8

* 達成割合は、小数点以下を切捨表示

* 評価凡例：◎95%以上、○90%以上、△90%未満

評 価

- ・ 8項目中、6項目で目標を達成した。このため、当機能の目標は達成した。

達 成 状 況

- ・ 資料受入点数は、蔵書の質の向上と併せて、汚破損本の更新を積極的に行ったため、目標を達成できなかった。
- ・ レファレンス件数は、目標を大きく上回った。クイックレファレンスも丹念にカウントしたことも要因の一つである。
- ・ 子ども図書館ホームページアクセス件数は、昨年度より増加し、目標を上回った。学校貸出セットの広報の成果もアクセス件数増加の要因の一つと考えられる。
- ・ 子ども図書館の入館者数は、目標に届かなかったが、貸出点数は、資料の質の向上及び利用環境の維持に努め、目標を達成できた。

今 後 の 改 善 点

- ・ すべての項目で、目標を少しでも超えるよう、各項目の再点検に努める。
- ・ 学校貸出図書セットは、引き続き内容の充実に努める。
- ・ 定例のおはなし会は、引き続き内容の充実に考慮しつつ、広報等による参加者増加に努める。

3 福岡県立図書館 評価項目一覧（平成27年度）

評価項目	設定理由	数値目標設定基準	過去3年平均 (H24~26)	26年度実績	27年度目標	27年度実績	前年数値 からの 伸び率	H27 目標 達成率	H27 結果
1 資料収集保存センターとしての機能に関する評価									
(1) 受入資料数	計画的に収集するため	過去3年平均	24,275 冊	25,260 冊	24,000 冊	23,979 冊	95 %	99 %	◎
(2) 録音図書収集タイトル数	録音資料の充実度を測る指標として設定する	過去3年平均	139 タイトル	155 タイトル	140 タイトル	171 タイトル	110 %	122 %	◎
(3) 大活字資料購入率(=購入点数/出版点数)	視覚障がい者・高齢者サービスの指標として	過去3年平均	100 %	100 %	100 %	100 %	100 %	100 %	◎
(4) 新着資料回転率 (=新着資料貸出点数/新着資料貸出可能数)	資料の有効活用度を測る指標として設定する	過去3年平均	2.8 回	2.8 回	2.8 回	2.75 回	99 %	98 %	◎
(5) 資料の質や量についての利用者満足度 (子ども図書館を除く。)*アンケートによる	利用者の満足度を測る指標として設定する	過去3年平均	85 %	85 %	85 %	84 %	99 %	98 %	◎
							◎以上の数 5/5		
2 資料情報センターとしての機能に関する評価									
(1) 入館者数(全体)	図書館がより多くの県民に利用されているかの指標となる	前年度実績	538,220 人	491,212 人	490,000 人	442,490 人	90 %	90 %	○
(2) 新規登録者数	図書館がより多くの県民に利用されているかの指標となる	前年度実績	4,829 人	4,673 人	4,700 人	4,975 人	106 %	105 %	◎
(3) 貸出点数(子ども図書館、録音図書を除く。)	図書館利用に関する指標となる	前年度実績	353,801 冊	367,289 冊	367,000 冊	377,565 冊	103 %	102 %	◎
(4) 貸出点数(録音図書。個人)	障がい者サービス指標として	前年度実績	1,445 タイトル	1,403 タイトル	1,400 タイトル	1,747 タイトル	125 %	124 %	◎
(5) レファレンス件数(子ども図書館、郷土資料室を除く。)	レファレンスの利用状況を客観的に把握できるため	前年度実績	45,232 件	54,411 件	54,000 件	58,045 件	107 %	107 %	◎
(5-2(内数)) ○重点サービス(ビジネス支援)	レファレンスの利用状況を客観的に把握できるため	前年度実績	1,264 件	1,413 件	1,400 件	1,879 件	133 %	134 %	◎
(5-3(内数)) ○重点サービス(行政支援)	レファレンスの利用状況を客観的に把握できるため	前年度実績	236 件	162 件	160 件	229 件	141 %	143 %	◎
(6) 複写サービス件数(本館第2閲覧室)	所蔵資料が利用者にとって有効であったことを示す指標となるため	前年度実績	5,726 件	5,217 件	5,200 件	5,395 件	103 %	103 %	◎
(7) 館内OPAC利用回数	来館者自らによる所蔵資料検索利用状況を図る指標として設定する	前年度実績	174,428 件	119,091 件	120,000 件	126,471 件	106 %	105 %	◎
(8) 福岡県立図書館ホームページアクセス件数	ホームページの充実度を見る指標となる	過去3年平均	456,542 件	470,756 件	460,000 件	465,502 件	99 %	101 %	◎
(9) Web OPAC利用回数	ホームページからの所蔵資料検索利用状況を図る指標として設定する	過去3年平均	1,341,239 件	1,308,746 件	1,300,000 件	1,271,459 件	97 %	97 %	◎
(10) 県民対象講座満足度(平均)*アンケートによる	県民対象講座参加者の満足度を測る指標として設定する	過去3年平均	98 %	100 %	98 %	99 %	99 %	101 %	◎
(11) 目的の資料・情報が入りやすさの利用者満足度 *アンケートによる	利用者の満足度を測る指標として設定する	過去3年平均	92 %	95 %	92 %	95 %	100 %	103 %	◎
							◎以上の数 12/13		

評価項目	設定理由	数値目標設定基準	過去3年平均 (H24~26)	26年度実績	27年度目標	27年度実績	前年数値 からの 伸び率	H26 目標 達成率	H27 結果
3 郷土資料センターとしての機能に関する評価									
(1)資料受入点数(郷土資料)	郷土資料を計画的に収集するため	過去3年平均	1,259 冊	1,386 冊	1,300 冊	1,644 冊	119 %	126 %	◎
(2)入館者数(郷土資料室)	郷土資料室の利用に関する指標として	過去3年平均	35,477 人	36,540 人	35,000 人	32,009 人	88 %	91 %	○
(3)レファレンス件数(郷土資料室)	郷土資料に関するレファレンスの利用状況を客観的に把握できるため	過去3年平均	5,361 件	5,330 件	5,300 件	5,441 件	102 %	102 %	◎
(4)複写サービス件数(郷土資料室)	所蔵資料が利用者にとって有効であったことを示す指標となるため	過去3年平均	3,947 件	3,936 件	4,000 件	3,555 件	90 %	88 %	△
(5)資料特別利用の件数	所蔵資料の有用性の指標となる(資料の復刻、資料掲載、放映、展示等への利用)	過去3年平均	94 件	100 件	100 件	131 件	131 %	131 %	◎
(6)郷土資料室ホームページアクセス件数	ホームページの充実度を見る指標となる	過去3年平均	7,490 件	7,159 件	7,500 件	7,952 件	111 %	106 %	◎
(7)郷土(福岡県)資料の質や量についての利用者満足度*アンケートによる	利用者の満足度を測る指標として設定する	過去3年平均	95 %	90 %	95 %	94 %	104 %	98 %	◎
								◎以上の数	5/7
4 市町村立図書館活動の援助センターとしての機能に関する評価									
(1)相互貸借冊数(貸出+借受)	相互利用の協力活動の指標となる	過去3年平均	20,409 冊	21,731 冊	20,500 冊	23,537 冊	108 %	114 %	◎
(2)レファレンス件数(市町村立図書館)	市町村からのレファレンスを受け支援しているため	過去3年平均	367 件	449 件	400 件	464 件	103 %	116 %	◎
(3)職員研修会満足度*アンケートによる。	市町村立図書館等職員の資質・能力向上の指標となる	過去3年平均	99 %	98 %	99 %	99 %	101 %	100 %	◎
(4)県内公共図書館等への講師派遣等出張回数	市町村支援の指標となる	前年度実績	99 回	48 回	50 回	56 回	117 %	112 %	◎
(5)市町村支援満足度*アンケートによる	市町村支援の指標となる	過去3年平均	99 %	99 %	99 %	99 %	100 %	100 %	◎
								◎以上の数	5/5
5 子どもの読書活動推進拠点としての機能に関する評価									
(1)資料受入点数(子ども図書館)	子ども資料を計画的に収集するため	過去3年平均	3,481 冊	4,617 冊	3,500 冊	3,172 冊	69 %	90 %	○
(2)レファレンス件数(子ども図書館)	レファレンスの利用状況を客観的に把握できるため	過去3年平均	3,963 件	4,089 件	4,000 件	5,785 件	141 %	144 %	◎
(3)ホームページアクセス件数(子ども図書館・キッズトップページ)	ホームページの充実度を見る指標となる	前年度実績	16,537 件	11,783 件	12,000 件	13,818 件	117 %	115 %	◎
(4)入館者数(子ども図書館)	子ども図書館の利用に関する指標として	過去3年平均	84,603 人	86,539 人	85,000 人	77,545 人	90 %	91 %	○
(5)貸出点数(子ども図書館)	子ども図書館の利用に関する指標として	過去3年平均	90,520 冊	98,116 冊	90,000 冊	104,484 冊	106 %	116 %	◎
(6)学校貸出セットの活用	学校との連携・市町村支援の効果を測る指標として設定する	過去3年平均	198 回	208 回	200 回	219 回	105 %	109 %	◎
(7)定例お話し会参加者数	子ども図書館の利用に関する指標として	前年度実績	2,555 人	2,176 人	2,200 人	2,728 人	125 %	124 %	◎
(8)子ども図書館の資料の質や量についての利用者満足度*アンケートによる	利用者の満足度を測る指標として設定する	過去3年平均	95 %	97 %	95 %	97 %	100 %	102 %	◎
								◎以上の数	6/8
全体								◎以上の数	33/38

注 1、2-(10)県民対象講座満足度の27年度の対象講座は①音声訳(録音図書製作)ボランティア養成講座、②読書週間事業読書講演会、③郷土史講座の3講座とする。
2、4-(4)県内公共図書館等への出張回数は、講師派遣依頼に基づくもの、協議会等への委員としての出席、会議、調査等の延べ回数。

0 ≦ △
90 ≦ ○
95 ≦ ◎

参考

図書館評価の根拠法令等

① 図書館法第7条の3（平成20年6月11日追加）

図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

② 図書館の設置及び運営上の望ましい基準（平成24年12月19日文科科学省告示第172号）

第2 公立図書館

一 市町村立図書館

1 管理運営

（一）基本的運営方針及び事業計画

- ① 市町村立図書館は、その設置の目的を踏まえ、社会の変化や地域の実情に応じ、当該図書館の事業の実施等に関する基本的な運営の方針（以下「基本的運営方針」という。）を策定し、公表するよう努めるものとする。
- ② 市町村立図書館は、基本的運営方針を踏まえ、図書館サービスその他図書館の運営に関する適切な指標を選定し、これらに係る目標を設定するとともに、事業年度ごとに、当該事業年度の事業計画を策定し、公表するよう努めるものとする。
- ③ 市町村立図書館は、基本的運営方針並びに前項の指標、目標及び事業計画の策定に当たっては、利用者及び住民の要望並びに社会の要請に十分留意するものとする。

（二）運営の状況に関する点検及び評価等

- ① 市町村立図書館は、基本的運営方針に基づいた運営がなされることを確保し、その事業の水準の向上を図るため、各年度の図書館サービスその他図書館の運営の状況について、（一）の2の目標及び事業計画の達成状況等に関し自ら点検及び評価を行うよう努めなければならない。

二 都道府県立図書館

6 準用

第二の一に定める市町村立図書館に係る基準は、都道府県立図書館に準用する。